

### 消費者の“共感”を得る情報発信を

広報力強化の一環として1月29日、パシオンで広報委員会を開きました。各部署・中央支所の広報委員ら22人が参加し、令和7年度広報活動計画の進捗(しんちよく)状況の確認と、令和8年度の活動について意見を交わしました。

東組合長が「広報委員からの情報提供で充実した広報活動ができています。農家が安心して作り続けるために「国消国産」や「地産地消」の大切さを消費者へ一歩ずつ伝えていこう」とあいさつ。参加した委員は「消費者が農家の想いに共感してもらえる工夫が必要」「組合員にわかりやすく、楽しいと思ってもらえる情報発信ができるよう努力したい」と話しました。

広報委員会は年2回行い、職員の知識と意識の向上に努めています。今後も広報誌やコミュニティ誌、ホームページやSNSなどを通じて組合員や地域住民への情報発信に力を入れてまいります。



広報誌について意見を交わす職員



### ワークショップでベジタブルアレンジメント

2/14 農産物市場「さくちのまんま菊陽店」の14種類の旬野菜を使って、ベジタブルアレンジメントを作りました。

ワークショップを通してJAを身近に感じてもらいたいと企画。地元野菜をもっと知り、味わってほしいと地域の方に呼び掛け、15人の参加がありました。JA菊池直営焼き肉レストラン「まんまキッチン」を会場に、大津町でフラワーアレンジメント講師をされている矢野功子さんに来ていただき教えてもらいました。ニンジン、サツマイモなどの根菜やイチゴやトマトなどを竹串に刺し、オアシスにアレンジ。隙間は葉物野菜で埋めて、個性豊かなアレンジが出来上がりました。

バレンタイン企画として2月14日に行い、JAの事業についての話も聞いてもらい、参加者には興味を持って楽しんでもらうことができました。

今後も、楽しんでもらえるワークショップを開き、JAの理解促進と利用拡大を図ります。JAは農業者以外の方にも利用できることを知ってもらい、地域住民にとって拠り所となるJAを目指していきます。

